

2021年度 事業報告

(2021年4月1日～平成2022年3月31日まで)

－ はじめに －

2021年度の概況

2021年度の助成事業については、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を施しつつ、高水準の助成を行うことができた。

音楽分野において、昨年はコロナ禍で中止を余儀なくされた第2次選考会も、開催時期を5月から7月に変更したうえで実技・面接による選考を行った。その後、第2回理事会（7月26日決議の省略による方法）で助成対象者を決定した。ただし、海外音楽研修生を対象とした助成金目録贈呈式の開催は昨年に引き続き中止することとなった。

地域の伝統文化分野においては、2020年度第4回理事会（3月10日開催）において決定した内容に基づいて、助成先43件について明治安田生命の最寄りの支社に依頼し、各地域の感染状況を睨みつつ、4月から8月にかけて全国42会場でそれぞれ助成金目録贈呈式を実施した。開催会場は昨年に引き続き、極力地元の市町村教育委員会施設で開催した。

役員等の人事については、遠山敦子評議員から4月30日付で退任の申し出があり受理した。また、6月2日に開催された定時評議員会において、白井道昭監事から退任の申し出を受け、後任者として田口寛監事が選任され、同日付をもって就任した。同評議員会においては、財団設立30周年記念誌発行等の財源確保を目的として、基本財産の一部取崩し（1,300万円）が決議された。

基本財産の運用に関しては、一定のリスクを許容した財産運用を継続し運用益確保に努めた結果、基本財産運用収入は、予算を上回る35,149千円を確保することができた。

主務官庁である内閣府への届出等については、評議員の変更について、5月18日付で内閣府へ提出した。また、2020年度事業報告等を2021年6月9日付で、監事の変更の届出を7月1日付で提出した。さらに2022年度の事業計画等を2022年3月9日付で提出した。

業務運営面では、元本毀損リスクのある運用に関し、毎月「財産運用モニタリング会議」を継続開催するとともに、2022年3月に理事長が主催し「財産運用会議」を開催した。会議には、出捐元から不動産部長、株式投資部長が陪席した。またコンプライアンス、リスク管理全般に関し、規程や手順・解説書の制定や改正など、管理態勢のさらなる高度化に努めた。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成 ～若手音楽家の人材育成に対する助成～

本分野については、前年に引き続きクラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に関し、次の助成を行なった。

- ・海外における音楽研修に対する留学費用助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金援助
- ・日本音楽コンクールに対する助成

(1) 海外における音楽研修生に対する助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家を目指して研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を練磨するとともにその実体験を通じてさらに研鑽を深めることを期待して、留学に必要な費用の支援を行なう。

② 助成金額

留学受け入れ先の入学決定を条件に、年額200万円(最長2年間)を助成する。

③ 公募関係

- ・公募時期：2021年1月4日～4月9日
- ・告知の方法：音楽専門大学宛案内(29校)、演奏家団体(53団体)および音楽指導者宛案内(337名)
「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミ宛ニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

・応募数

年度	応募数
2021	67名
2020	58名

・応募者の情報入手経路の割合(複数回答を含む)

年度	過去申込者	学内掲示	知友人	指導者	音楽情報誌等	インターネット
2021	4.1%	13.7%	8.2%	4.1%	4.1%	65.8%
2020	1.4%	15.7%	10.0%	8.6%	1.4%	61.4%

④ 選考経過

- ・新型コロナウイルス感染状況を見極めつつ、第1次選考委員会は予定どおり4月24日に開催(書類および映像資料審査、審査会場：東京オペラシティ小リハーサル室)し、1次通過者として15名を選出。
- ・第2次選考委員会は、当初予定の5月20日から7月15日に変更のうえ開催(実技・面接審査、審査会場：東京オペラシティリサイタルホール)し、5名の助成対象候補者を選出。なお1次通過者のうち2名は参加を辞退。
- ・7月26日開催の2021年度第2回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2021年度の助成実行状況

- ・海外研修生費用助成の対象者に対する助成金目録贈呈式は、昨年に引き続き今年度も開催を見送りとした。なお、助成金は助成目的事由が確定(海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出)した後に支給。

・ 2021年度助成対象決定者 5名 助成決定額 1,600万円 (敬称略)

氏名	専攻	助成期間	研修先
略歴			
谷口 知聡	ピアノ	2年	パリ国立高等音楽院 (フランス・パリ)
桐朋学園大学音楽科ピアノ専攻卒			
阪田 知樹	ピアノ	1年	ハノーファー音楽演劇メディア大学 (ドイツ・ハノーファー)
ハノーファー音楽演劇メディア大学大学院リスト課程在			
太田 糸音	ピアノ	2年	ベルリン芸術大学 (ドイツ・ベルリン)
名古屋芸術大学大学院修士課程2年在			
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学 (オーストリア・ウィーン)
ウィーン国立音楽大学ソコース修了			
北田 千尋	ヴァイオリン	2年	ブリュッセル王立音楽院 (ベルギー・ブリュッセル)
桐朋学園大学大学院修士課程修了			

・ 2021年度助成実行状況 合計 15名

助成額合計 1,900万円 未払助成金合計 1,200万円

a. 2018年度助成対象者5名のうち1名

助成額合計 100万円 未払助成金合計 0万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
高橋 維	声楽	1年	フライナー音楽院		0
仁田原 祐	ピアノ	2年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学		0
小林 壱成	ヴァイオリン	1年	ベルリン芸術大学大学院		0
岡本 誠司	ヴァイオリン	2年	クロンベルク・アカデミー(注1)	9月(100)	0
山根 一仁	ヴァイオリン	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学		0

b. 2019年度助成対象者4名のうち4名

助成額合計 500万円 未払助成金合計 0万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
山田 花織	声楽	2年	クラウテイル・アハト・ミラノ市立音楽院	6月(100)	0
秋元 孝介	ピアノ	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学	9月(100)	0
小川 恭子	ヴァイオリン	2年	ウィーン国立音楽大学	5月(100)	0
田原 綾子	ヴァイオリン	2年	デトモルト音楽大学	7月(100), 10月(100)	0

c. 2020年度助成対象者6名のうち5名

助成額合計 700万円 未払助成金合計 200万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
櫻井 愛子	声楽	1年	ウィーン国立音楽大学	4月(100)	0
吉田 一貴	声楽	2年	パルマ音楽院 “アッレゴロ・ボート”	5月(100), 11月(100)	100
横山 瑠佳	ピアノ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学	6月(100)	0
黒田 哲平	ピアノ	2年	デトモルト音楽大学	7月(100), 2月(100)	100
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学		0
内尾 文香	ヴァイオリン	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学	7月(100)	0

c. 2021年度助成対象者5名のうち5名

助成額合計 600万円 未払助成金合計 1,000万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
谷口 知聡	ピアノ	2年	パリ国立高等音楽院	8月(100), 3月(100)	200
阪田 知樹	ピアノ	1年	ハノーファー音楽演劇メディア大学	9月(100)	100
太田 糸音	ピアノ	2年	ベルリン芸術大学	9月(100)	300
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学	9月(100)	100
北田 千尋	ヴァイオリン	2年	ブリュッセル王立音楽院	10月(100)	300

(2) 国内音楽学生に対する奨学助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化の向上のため、将来の専門家を目指して勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給し、より一層研鑽に励めるよう支援する。

② 助成金額

指定校11校から各1名（原則3年次生以上）に対し年間30万円の奨学助成（最長2年間）を行なう。

③ 推薦受付

- ・2021年1月6日 指定校11校に対し推薦依頼。
- ・2021年5月7日 推薦受付を締め切り、11名の推薦を受け付け。

④ 選考経過

- ・7月15日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金受給候補者として11名を選定。7月26日開催の第2回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2021年度助成実行状況

- ・指定11校から推薦された3年次生以上の学生各1名を助成対象とし、年間30万円（上期・下期各15万円）を支給。
- ・2021年度助成対象決定者 11名 助成決定額 660万円（敬称略）

氏名	在籍大学(推薦校)	専攻	学年
●● ●●	東京藝術大学	ピアノ	3年
●● ●●	愛知県立芸術大学	ピアノ	3年
●● ●●	京都市立芸術大学	ピアノ	3年
●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	3年
●● ●●	武蔵野音楽大学	ピアノ	3年
●● ●●	国立音楽大学	オルガン	3年
●● ●●	桐朋学園大学	ヴァイオリン	3年
●● ●●	東京音楽大学	打楽器	3年
●● ●●	昭和音楽大学	ピアノ	3年
●● ●●	洗足学園音楽大学	作曲	3年
●● ●●	大阪音楽大学	ピアノ	3年

- ・2021年度助成実行状況 合計22名

支払額合計 660万円 未払金額合計 330万円（敬称略）

決定年度	氏名	在籍大学	専攻	実行月(金額:万円)	未払額
2020	●● ●●	東京藝術大学	ソプラノ	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	愛知県立芸術大学	ヴァイオリン	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	京都市立芸術大学	指揮	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	武蔵野音楽大学	ピアノ	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	国立音楽大学	電子オルガン	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	桐朋学園大学	ピアノ	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	東京音楽大学	作曲	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	昭和音楽大学	ソプラノ	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	洗足学園音楽大学	作曲	5月(15),10月(15)	0
〃	●● ●●	大阪音楽大学	ピアノ	5月(15),10月(15)	0
計	11名			330万円	0万円

2021	●● ●●	東京藝術大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	愛知県立芸術大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	京都市立芸術大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	武蔵野音楽大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	国立音楽大学	オルガン	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	桐朋学園大学	ヴァイオリン	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	東京音楽大学	打楽器	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	昭和音楽大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	洗足学園音楽大学	作曲	9月(15),10月(15)	30
〃	●● ●●	大阪音楽大学	ピアノ	9月(15),10月(15)	30
計	11名			330万円	330万円
合計	22名			660万円	330万円

(3) 日本音楽コンクールへの助成

「日本音楽コンクール」(主催:毎日新聞社/日本放送協会)の運営協力のための助成

・作曲部門最優秀者への寄託賞(明治安田賞50万円)贈呈

<結果> 第90回日本音楽コンクール作曲部門結果(2021年度は室内楽曲)

・本選会:8月20日 3作品(応募43作品)於:毎日新聞社内
最優秀者(敬称略):第1位 福丸 光詩氏

2. 地域の伝統文化分野への助成 ～地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成～

① 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を行なう。

② 助成対象

・地域の民俗芸能(民俗行事・民俗音楽を含む)の継承、後継者育成のための助成
・地域の民俗技術(伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む)の継承、後継者育成のための助成

③ 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円を限度とし、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を行なう。

④ 公募関係

・公募時期:2020年11月4日～2021年1月29日
・告知の方法:都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミ宛にニュースリリースを発送。
・応募数

年度	区分	申込件数	(申込都道府県数)
2021	民俗芸能	78	37
	民俗技術	1	1
	合計	79	延べ37
(参考)2020年度応募状況		138	延べ43

⑤ 選考経過

3月9日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補43件を選定。

年度	区分	件数	助成金額
2021	民俗芸能	42	1,813万円
	民俗技術	1	37万円
	合計	43	1,850万円
(参考)2020年度助成状況		42	1,850万円

⑥ 2021年度助成実行状況

- ・都道府県別に一次推薦先の市町村教育委員会等の施設において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録の贈呈を行なった。なお、助成金は、助成金目録の贈呈後、対象者が希望する月に支給した。

- ・助成実行状況

助成実行件数合計 43件 助成実行額合計 1,850万円

a. 民俗芸能 42件 1,813万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
北海道	上ノ国昔踊り保存会	40	長野県	荻原神社秋祭り実行委員会	40
青森県	湊えんぶり組	25	岐阜県	荒川松坂踊り保存会	50
青森県	浅井獅子踊保存会	50	愛知県	大留下棒の手保存会	50
青森県	田子町ナニャドヤラ保存会	40	愛知県	常滑市小倉囃子保存会	15
岩手県	犬吠森念仏剣舞保存会	50	愛知県	河和山車保存会	50
岩手県	築館大乘神楽保存会	50	京都府	大住隼人舞保存会	45
宮城県	古式獅子舞保存会	50	京都府	伊根町 亀島区	50
秋田県	東長野ささら保存会	19	奈良県	大宝寺六斎講	40
秋田県	釜ヶ台番楽保存会	50	島根県	出雲國大原神職神楽保存会	50
山形県	大谷獅子舞保存会	50	広島県	宮之庄神楽団	50
福島県	芳賀須内青年会	40	広島県	宗教法人 須佐神社	10
茨城県	東牛谷お囃子保存会	50	徳島県	勝瑞獅子保存会	45
栃木県	大神神社伶人保存会	50	香川県	山本長刀踊保存会	40
埼玉県	塚越囃子連	50	高知県	船戸花取踊り保存会	50
千葉県	笹川神楽保存会	50	福岡県	今宿青木獅子舞保存会	27
東京都	留原囃子保存会	45	佐賀県	戸杓浮立保存会	34
神奈川県	宮城野獅子舞保存会	50	長崎県	高浜相撲協会	40
新潟県	榎下町稚児舞保存会	70	大分県	立石楽継承活動応援隊	50
富山県	広野自治会	35	大分県	阿鹿野獅子保存会	50
山梨県	向原下組道祖神御神木保存会	18	鹿児島県	土踊保存会	45
長野県	和田神社御神楽芸能同志会	50	沖縄県	伊集の打花鼓保存会	50

b. 民俗技術 1件 37万円

地域	対象(団体等)	助成額
和歌山県	紀州製竿組合	37

3. 機関誌の発行

- ・音楽分野『いい人・いい音』2022年1月発行（1,300部）
- ・伝統文化分野『地域の伝統文化』2021年10月発行（3,000部）

4. 財団設立30周年記念誌の編纂・発行（4,500部、2022年5月発刊予定）

(1) 以下の統合版記念誌の発行を計画

- ① 伝統文化分野：平成23年度～令和2年度助成先のあらまし（20周年記念誌同様）
- ② 音楽分野：2013年度～2021年度に発行した機関誌「いい人・いい音」集約版（選考委員による巻頭寄稿および助成対象者の近況レポート）

(2) 伝統文化分野助成先に対し掲載用原稿、写真を依頼（2021年4月～9月）

(3) 掲載対象〔平成23～令和2年度助成先〕426団体（個人）中、415より原稿および写真の提供を受ける

(4) 2022年5月上旬の発刊に向け準備中

(参考) 年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

[金額単位：万円]

年度		音 楽 分 野					伝 統 文 化 分 野			金額計
		日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽計	民俗芸能	民俗技術	伝統 文化計	
1991 ～ 2002	申込	12	265	1,071	120	1,468	1,495	116	1,611	84,804
	決定	12	40	69	120	241	447	70	517	
	金額	6,600	3,770	31,280	11,460	53,110	28,940	2,754	31,694	
2003	申込	1	—	102	10	113	111	4	115	4,010
	決定	1	—	5	10	16	33	2	35	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,590	60	1,650	
2004	申込	1	—	85	10	96	112	11	123	4,010
	決定	1	—	5	10	16	31	5	36	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,525	125	1,650	
2005	申込	1	—	87	10	98	139	3	142	4,010
	決定	1	—	6	10	17	37	0	37	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,650	0	1,650	
2006	申込	1	—	86	10	97	113	10	123	4,246
	決定	1	—	6	10	17	35	2	37	
	金額	50	—	2,000	450	2,500	1,666	80	1,746	
2007	申込	1	—	99	10	110	152	10	162	4,270
	決定	1	—	5	10	16	37	2	39	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,780	70	1,850	
2008	申込	1	—	88	10	99	129	5	134	4,270
	決定	1	—	5	10	16	39	1	40	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,810	40	1,850	
2009	申込	1	—	77	10	88	137	7	144	4,240
	決定	1	—	6	10	17	38	4	42	
	金額	50	—	1,800	540	2,390	1,740	110	1,850	
2010	申込	1	—	94	10	105	139	5	144	4,210
	決定	1	—	5	10	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,735	115	1,850	
2011	申込	1	—	81	10	92	172	3	175	4,440
	決定	1	—	6	10	17	41	1	42	
	金額	50	—	2,000	540	2,590	1,814	36	1,850	
2012	申込	1	—	77	11	89	187	7	194	4,557
	決定	1	—	4	11	16	48	6	54	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	2,122	185	2,307	
2013	申込	1	—	81	11	93	160	8	168	4,040
	決定	1	—	5	11	17	40	2	42	
	金額	50	—	1,600	540	2,190	1,775	75	1,850	
2014	申込	1	—	87	11	99	171	5	176	4,120
	決定	1	—	6	11	18	41	3	44	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	1,802	98	1,900	
2015	申込	1	—	80	11	92	155	9	164	4,500
	決定	1	—	6	11	18	40	4	44	
	金額	50	—	2,000	600	2,650	1,746	104	1,850	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	68	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
2020	申込	1	—	58	11	70	133	5	138	4,160
	決定	1	—	6	11	18	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,740	110	1,850	
2021	申込	1	—	67	11	79	78	1	79	4,160
	決定	1	—	5	11	17	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,813	37	1,850	
累 計	申込	31	265	2,568	320	3,184	4,108	232	4,340	164,647
	決定	31	40	168	320	559	1,190	117	1,307	
	金額	7,550	3,770	64,480	22,200	98,000	62,370	4,277	66,647	

II. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2022年3月31日現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	略歴	備考
理事	関口 憲一	2020/06/17	理事長(非常勤)	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
理事	壁谷 章可	同	専務理事(常勤)	当財団事務局長	2017/06/01
理事	小島 美子	同	非常勤	国立歴史民俗博物館名誉教授	2012/04/01
理事	醤油 和男	同	常勤	明治安田システム・テクノロジー(株)元監査役	2016/06/14
理事	竹内 彰雄	同	非常勤	片倉工業株式会社顧問	2016/06/14
理事	丹羽 正明	同	同	音楽評論家	2012/04/01
理事	平出 功	同	同	T P R株式会社特別顧問	2010/06/23
理事	深澤 正宏	同	同	安田不動産株式会社相談役	2009/03/10
理事	星野 紘	同	同	公益財団法人全日本郷土芸能協会理事長	2009/06/04
監事	津吹 茂	2020/06/17	非常勤	オリジン電気株式会社元常勤監査役	2020/06/17
監事	田口 寛	2021/06/02	同	明治安田生命保険(相)理事・関連事業部長	2021/06/02
評議員	朝岡 康二	2020/06/17	—	沖縄県立芸術大学元学長	2008/03/10
評議員	池田 輝彦	同	—	みずほ信託銀行株式会社元社長	2020/06/17
評議員	海老澤 敏	同	—	尚美学園大学名誉教授	2012/04/01
評議員	小塩 節	同	—	中央大学名誉教授	2012/04/01
評議員	鈴木 伸弥	同	—	明治安田生命保険(相) 特別顧問	2014/06/10
評議員	田中 宏	同	—	株式会社クレハ名誉顧問	2014/06/10
評議員	根津 嘉澄	同	—	東武鉄道株式会社取締役社長	2010/06/03
評議員	松尾 憲治	同	—	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
評議員	渡辺 行信	同	—	当財団元専務理事	1997/06/10

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

2. 選考委員に関する事項

2022年3月31日現在

(1) 音楽分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	丹羽 正明	2020/04/01	音楽評論家	1991/06/23
選考委員	植田 克己	同	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2000/04/01
選考委員	多田羅迪夫	同	声楽家・東京藝術大学名誉教授	2007/04/01
選考委員	徳永 二男	同	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特任教授	1991/06/23
選考委員	沼野 雄司	同	桐朋学園大学・大学院教授	2019/04/01
選考委員	山本 正治	同	クラリネッティスト・東京藝術大学名誉教授	2021/03/10
選考委員	渡辺 行信	同	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

(2) 伝統文化分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	小島 美子	2020/04/01	国立歴史民俗博物館名誉教授	1991/06/23
選考委員	神野 善治	2021/03/10	武蔵野美術大学名誉教授	2021/03/10
選考委員	田中 宣一	2020/04/01	成城大学名誉教授	1991/06/23
選考委員	田村善次郎	同	武蔵野美術大学名誉教授	同
選考委員	西角井正大	同	前日本民俗芸能協会会長	1995/06/06
選考委員	星野 紘	同	全日本郷土芸能協会理事長・日本民俗芸能協会会長	2014/04/01
選考委員	渡辺 行信	同	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

3. 職員に関する事項

2022年3月31日現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	備考
専務理事・事務局長	壁谷 章可	2017/04/01	総括・企画・総務等	明治安田生命保険(相)より出向
理事	醬油 和男	2016/06/14	対外諸活動、経理検証	
事務局次長	千田 伸也	2021/04/01	リスク管理・コンプライアンス	明治安田生命保険(相)より出向
主幹	山内 彰	2010/01/01	事務局長所管業務補佐	
主任	金子 悦子	2007/01/01	会計・総務	

4. 会議等開催に関する事項

(1) 理事会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2021年 5月14日	決議に必要な出席 理事の数 5名 出席 7名 欠席 2名 監事出席 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2020年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・基本財産一部取り崩し承認の件 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ・職務執行状況報告 	<p>原案どおり可決 同上</p> <p>同上 同上</p>
2021年 7月26日	(決議の省略の方法による)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度音楽分野の助成対象の件 	原案どおり可決
2022年 3月2日	決議に必要な出席 理事の数 5名 出席 9名 欠席 0名 監事出席 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度事業計画、収支予算等承認の件 ・「環境方針」制定の件 ・2022年度地域の伝統文化分野助成対象の件 ・選考委員全員任期満了に伴う改選の件 ・職務執行状況報告 	<p>原案どおり可決 同上 同上 同上</p>

(2) 評議員会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2021年 6月2日	決議に必要な出席 評議員の数 5名 出席 6名 欠席 3名 監事出席 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2020年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・基本財産一部取り崩しの件 ・監事1名選任の件 ・報告事項（2021年度事業計画・収支予算、2021年度伝統文化分野助成対象、2021年度音楽分野の選考について） 	<p>原案どおり可決 同上</p> <p>同上 同上</p>

(3) 選考委員会

① 音楽分野

開催日	内容
2021年 4月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度申込者の第1次選考審査会(書類および映像資料審査)を東京オペラシティ小リハーサル室にて実施。 ・第1次審査通過者として15名を選定。

2021年 7月15日	<ul style="list-style-type: none"> 第2次選考審査会（実技および面接審査）を東京オペラシティリサイタルホールで実施。 2021年度海外研修助成対象候補者として5名を選定。 主要11音楽大学から推薦された11名を2021年度国内音楽学生奨学金受給対象候補者として承認。
2021年 10月14日	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度公募方針ならびに申込要領の内容を日本工業倶楽部にて検討。

② 伝統文化分野

開催日	内 容
2021年8月	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度公募方針ならびに申込要領の内容を書面にて開催し、決定。
2022年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度申込の選考委員会（書類および写真審査）を明治安田生命本社ビル会議室にて実施。 助成対象候補先として、民俗技術2件、民俗芸能43件を選定。

(4) 監事による監査

開催日	内 容
2021年 4月16日	<ul style="list-style-type: none"> 津吹監事ならびに白井監事による2020年度決算監査を実施。
2021年 11月18日	<ul style="list-style-type: none"> 津吹監事ならびに田口監事による2021年度中間監査を実施。

5. 主務官庁等に関する事項

- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、評議員の変更について、2021年5月18日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2020年度事業報告等について、2021年6月9日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、監事の変更、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更について、2021年7月1日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2022年度事業計画等について、2022年3月9日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

該当事項なし。

7. 寄付金に関する事項

寄付者	領収金額
明治安田生命保険相互会社	2,700万円

8. リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

	発生件数	累 計	対前年増減	備考（傾向と対策）
コンプライアンス違反懸念	0件	0件	0件	—

情報漏洩懸念	0件	0件	0件	—
事務・システムリスク等	0件	0件	0件	—
うち重大事務リスク該当件数	0件	0件	0件	—
苦情・相談	0件	0件	0件	—

(2) 主務官庁の立入検査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称（監査実施年度）	指摘事項	前回指摘の改善状況
—	—	—

(3) 規程・方針等の整備状況

① コンプライアンス関連

- ・2021年度「コンプライアンス取組計画」に対する評価を実施（2021年9月）[評価：当初計画どおりに実施でき課題はなかった。]

② リスク管理関連

- ・2021年度「リスク管理の重点実施事項」に対する取組みを検証したが、新たに認識した課題はなかった。

③ 制定および改正した規程等

- ・「人権方針」（2021年4月）
- ・「お申し出対応基本規程」（2021年4月）
- ・「お申し出に対する管理・報告ルール」（2021年4月）
- ・「コンプライアンス基本規程」（2021年10月）
- ・「情報管理規定」（2021年10月）
- ・「情報管理細則」（2021年10月）
- ・「外部委託管理規定」（2021年10月）
- ・「外部委託管理細則」（2021年10月）
- ・「外部委託評価基準」（2021年10月）
- ・「危機管理規程」（2021年10月）

④ 制定・改正した手順・解説書等

- ・「災害対策 手順・解説書」（2021年4月）
- ・「コンプライアンスマニュアル」（2021年7月）
- ・「情報システム利用マニュアル」（2021年7月）
- ・「パソコンの設置等に関する手順・解説書」（2021年10月）
- ・「外部委託管理にかかる手順・解説書」（2021年10月）
- ・「情報管理態勢に係るアンケート」（2021年10月）
- ・「新型インフルエンザ等対策手順・解説書」（2021年10月）

9. 反社会的勢力への対応状況

(1) 新規取引先に関する属性点検実施状況（今年度累計：2021年4月1日～2022年3月31日）

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
	うち、上場企業・関連会社等	うち、個人契約	うち、代表者名		うち、個人契約				
外部委託契約 締結先	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	懸念先なし	
一般契約 締結先	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
その他取引先等 (助成申込先:注)	155件	0件	155件	155件	155件	0件	155件	懸念先なし	

(注) 対象は2020年度海外音楽研修費用助成申込および国内音楽学生奨学助成新規分

(2) 一般契約書への反社条項導入状況

有効契約数	反社条項 導入要契約	反社条項 導入完了契約	完了率	完了予定
5	5	5	100%	

・反社条項とは、外部委託契約等において、締結先が反社会的勢力との関係を持たないことを確認する契約条項

(3) 反社情報の明治安田生命への連携状況

報告年月日	報告内容	明治安田生命との連携状況
	該当なし	

(4) 既取引先の属性点検実施状況(2022年3月末状況)

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
	うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約			うち、代表者名	うち、個人契約			
(注1) 特定外部委託 契約締結先	3 件	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件		
(注2) その他外部委託・ 一般契約締結先	5 件	1 件	0 件	7 件	7 件	4 件	0 件	懸念先 なし	
(注3) その他取引先等	21 件	0 件	21 件	21 件	21 件	0 件	21 件	懸念先 なし	

(注1) 特定外部委託：明治安田生命本体および明治安田生命関連会社との委託契約

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャノンマーケティングジャパン社（キャノンコピー機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）
- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）
- ・SCB 新宿センタービル管理株式会社（清掃業務委託契約）

(注3) その他取引先等：

- ・2020年度以前に助成決定した海外音楽研修生および国内音楽大学助成者

Ⅲ. 2022年度のリスク管理への取組み

1. 重要リスクの特定

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. サステナビリティへの対応不十分	<ul style="list-style-type: none">・伝統文化分野の後継者育成のための助成事業、および若手音楽家育成のための助成事業の適正な運営	<ul style="list-style-type: none">・「理事会」における審議事項や、職務執行報告により、理事、評議員、監事に報告し、承認を受ける。
2. 金融環境の大幅悪化	<ul style="list-style-type: none">・元本毀損リスクのある上場REITの相場を注視	<ul style="list-style-type: none">・「モニタリング会議」「財産運用会議」の内容を理事長に報告し、指示を受け改善する。(PDCAサイクル)
3. With/after コロナへの対応不十分	<ul style="list-style-type: none">・事業計画への反映・感染防止対策の高度化(第2オフィス)	<ul style="list-style-type: none">・理事会への報告・承認・新たな生活様式の徹底
4. 大規模な自然災害やパンデミックの発生による業務継続・損失拡大	<ul style="list-style-type: none">・緊急時の出社訓練等を行い態勢の有効性を確認・常時テレワーク者(1名)体制の施行	<ul style="list-style-type: none">・「経営チェックリスト」を活用した自己点検・「総括管理部要請事項」を活用した検証
5. サイバーセキュリティ強化への対応不十分	<ul style="list-style-type: none">・「リスク管理の重点実施事項」の7. システクリスク・セキュリティにかかる取り組みに記載	<ul style="list-style-type: none">・「経営チェックリスト」を活用した自己点検・「内部管理自己点検シート」を活用した検証

2. リスク管理の重点実施事項

リスク管理規程に基づき、2022 年度のリスク管理の重点実施事項を以下のとおり定める。

1. 方針、規程、手順・解説書の見直し

公益認定等ガイドライン等をふまえたリスク・コンプライアンス関連の方針、諸規程、手順・解説書の見直しによりリスク管理態勢の高度化を推進する。

2. リスク・コンプライアンス推進委員会の定期的開催と理事会等への報告

リスク管理・コンプライアンス態勢については、「経営チェックリスト」等の内部管理自己点検の結果を基本に、定期的にリスク・コンプライアンス推進委員会に報告するとともに課題の解決策を講じる。また、理事会等へ報告する。

3. 基本財産の運用に関するモニタリング強化

資産運用リスクに対応するため、毎日の市場価格を「モニタリング会議」を通じ、確認・検証等を行う。また、会議内容を理事長へ報告するとともに、半期に一度「財産運用会議」を行い、出捐元との連携を強化しリスク管理態勢の高度化に努める。

4. 「経営チェックリスト」等による内部管理自己点検の実施

業務の健全性とガバナンスの適切性を確保するため「経営チェックリスト」による内部管理自己点検を年一回以上実施する。なお重要度が高い業務にかかる事項は毎月実施する。

5. 役職員教育・研修の実施

リスク・コンプライアンス関連の法令・諸規程の周知徹底、およびリスク管理・コンプライアンスに関する学習教材、事例、内部管理自己点検等によるリスク管理・コンプライアンス態勢の検証等により、全職員を対象に教育・研修・情報交換を実施し、リスク管理・コンプライアンスが当財団の経営の健全性を与える重要性を全職員に徹底する。また、財団関係者を大切にすることをすべての業務運営における基本原則として定め、その重要性を全職員に徹底する。

6. 個人情報保護への継続的な取り組み

助成申込者および財団役員等からお預かりした個人情報、個人番号および特定個人情報を大切に保護・管理するために、個人情報保護法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律をはじめとする関係法令および社内規程等の遵守の重要性を周知・徹底するとともに、さまざまな安全管理措置等の適切な取扱い等を徹底し、情報漏洩の発生原因を徹底的に排除した態勢を整備する。

7. システムリスク・セキュリティにかかる取り組み

保有・利用する情報システムにおいて、以下の各号のとおりシステムリスク管理態勢の整備を推進する。

あわせて、全役職員を対象に情報システム利用マニュアルの周知徹底を図る。

- (1) システムの品質確保に向け、必要な要件がシステムに正しく反映されていることを、システム稼働前に確認する
- (2) システムのセキュリティの確保に向け、必要なセキュリティ対策が取られていることを、システム稼働前(外部サービス利用は利用開始前)および定期的に確認する
- (3) 社外メール・インターネットを通じた外部攻撃(ウィルス感染、サイバー攻撃等)の危険を認識し、システムの安全利用に努める

8. リスク等発生時のレポートラインの整備と徹底

「リスク・コンプライアンス違反等に関する管理・報告ルール」および「お申し出に関する管理・報告ルール」を周知徹底し、リスク等発生時には迅速な情報の収集によりリスクの伝播を防止し、発生原因の分析、再発防止策の策定・実施を行う。

附属明細書

2021年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。